

宇宙基本計画工程表改訂（宇宙安全保障部会関連）における

今後の取組の方向性についての主な論点（案）

平成 30 年 11 月 12 日
内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

工程表 2 1 宇宙状況把握

- 宇宙状況把握（SSA）情報の収集能力向上や情報共有を進めるための取組の推進、SSA 衛星等の技術動向等調査の実施。
- 平成 35 年度以降のシステム運用開始を見据えた関係 3 府省（内閣府、文科省、防衛省）の間での維持・運用・経費等の具体化に向けた検討。
- 宇宙交通管制（STM）等の国際的な動向等の調査、将来の SSA 情報の利活用についての検討。

工程表 2 2 海洋状況把握

- 「海洋状況表示システム」を活用した海洋情報の効果的な集約・共有・提供。
- 情報収集衛星の着実な増強や、陸域観測技術衛星 2 号機（ALOS-2）等に加え、JAXA 衛星及び民間等の小型衛星（光学衛星・SAR 衛星）等の活用も視野に入れた海洋情報の収集・取得に関する取組の強化及び海洋観測等に関する基盤整備の強化。
- 海洋状況把握（MDA）における衛星情報の更なる利活用についての研究や検討、米国や仏国等との一層の連携強化。

工程表 2 3 早期警戒機能等

- 早期警戒機能等に関する海外のセンサや地上処理装置などの技術動向の調査研究、米国との早期警戒分野での協力の推進。

工程表 2 4 宇宙システム全体の機能保証強化

- 宇宙システムの機能保証強化に資するリスクアセスメント手法の検討、情報共有、機上演習に向けた取組。
- 宇宙システムの機能保証に資する技術開発や衛星運用の動向を踏まえ、機能保証上の重要性に応じ関係省庁間の連携に資する取組を推進。

工程表 3 7 JAXA と防衛省との連携強化

- 宇宙システムの機能保証強化に資する SSA システムの連携や人事交流を始めとした具体的な取組や更なる連携強化の取組について検討。
- 繼続的かつ安定的に相互の意見交換や情報共有等を行うための仕組み作り等の取組の充実。

工程表 5 1 宇宙安全保障の確保に向けたその他の取組

- 宇宙産業の活性化と民間衛星の積極的な活用について検討。
- 将来の安全保障に資する宇宙システムについて、技術開発や利用の動向（例：SSA 卫星、早期警戒衛星、電波監視衛星、静止軌道光学衛星、量子暗号通信技術、衛星データへの AI 技術の活用、ホステッドペイロード等）を調査・検討し、必要な取組を実施。